

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

【研究課題名】

小児 LPEC*におけるポートサイズ変更前後の周術期鎮痛管理と追加鎮痛の検討：単施設後ろ向き pilot 研究

*LPEC: Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術

*pilot 研究：探索的研究

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

【研究責任者所属・氏名】 北海道大学病院 麻酔科・打浪 有可

【研究の目的】

この研究では、手術のときに使う局所麻酔の針の太さ（4 mm と 3 mm）によって、小さなお子さんの術後の痛みや手術中の管理に違いが出るかどうかを調べます。症例が少ないため、統計的な有意差の判断はせず、傾向として報告します。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2023年1月1日から2026年3月31日までの間に、北海道大学病院で腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術を受けられた3ヶ月以上3歳以下のお子さん

○利用する情報

術前30日から退院2026年4月31日までのカルテ情報を収集します。

情報：年齢、性別、身長、体重、持病に関する情報、手術前の検査結果、麻酔記録（術中に使用した鎮痛薬や神経ブロック）、手術や麻酔の経過、入院中、手術室退室後退院に使用した鎮痛薬の種類・使用量。

【研究実施期間】 実施許可日（情報の利用開始日：2026年6月頃）から2027年12月31日まで

2026年4月17日（第1版）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報は、お名前や住所など、患者さん個人を直接特定できる情報を削除または置き換えて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は含めません。

この研究への情報の利用をご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。お申し出があった方の情報は、研究に利用しません。

【連絡先・相談窓口】

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 麻酔科 担当医師 打浪 有可

電話 011-706-7861

研究に関するお問い合わせは、北海道大学病院 麻酔科までお願いいたします。